

地盤工学会平成28年熊本地震地盤災害調査団
液状化班報告(平成28年6月24日)

液状化マップ(20160624版) 解説書

村上哲(福岡大学)

ご批判・ご指摘・ご意見あれば、村上(sato4murakami@fukuoka-u.ac.jp)までお願いします。

液状化マップ(20160624版)

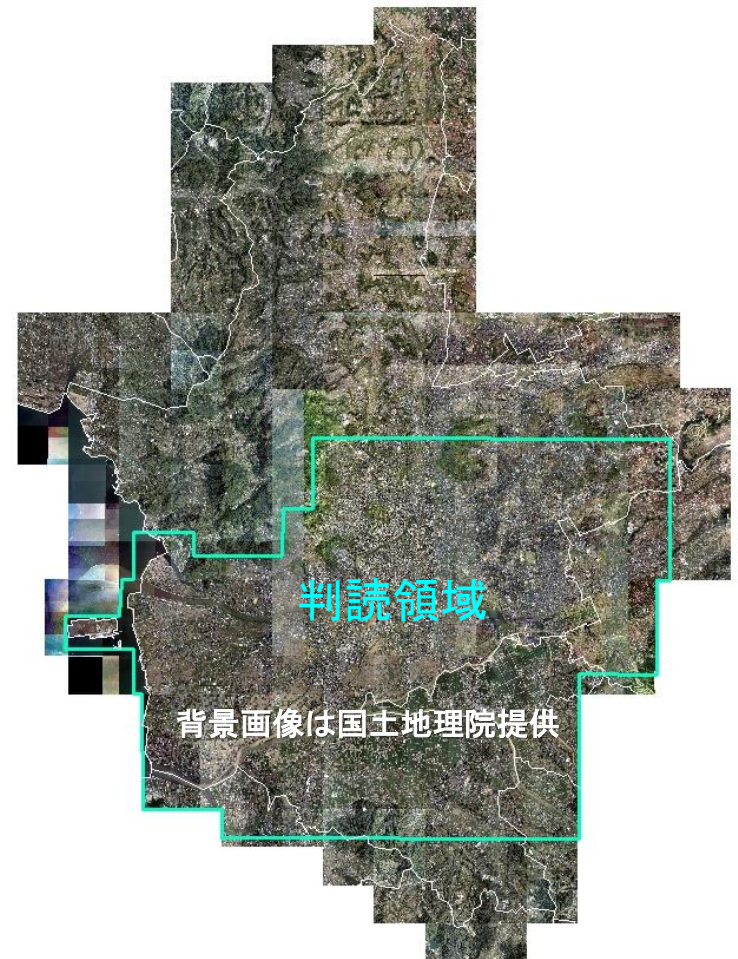
- 2016年6月24日時点の現地調査結果と空中写真判読結果を用いて、熊本平野を対象とした、平成28年熊本地震における熊本平野液状化マップを作成

ー 現地調査地域

- 平成28年4月22日:嘉島町犬渕・上島・鯨、熊本市南区近見・刈草、熊本市東区秋津
- 平成28年4月29日:熊本市南区近見、刈草、南高江
- 平成28年5月1日:熊本市南区南高江、八幡、川尻
- 平成28年5月7日:熊本市南区土河原、砂原・孫代、熊本市西区域山薬師、城山半田、中島、沖新町、小島新町
- 平成28年5月20日:熊本市西区松尾、高橋町、上代、花園、上熊本、池亀町、熊本市中央区横手、島崎、熊本市北区釜尾町
- 平成28年5月28日:甲佐町
- 平成28年6月15日:熊本市南区学科・鯨油・武拾町、御船町
- 平成28年6月17日:熊本市中央区壺川。熊本市東区沼山津、益城町広崎、熊本市南区富合町杉島、川尻6丁目、熊本市南区富合町小岩瀬、宇土市直築・切所

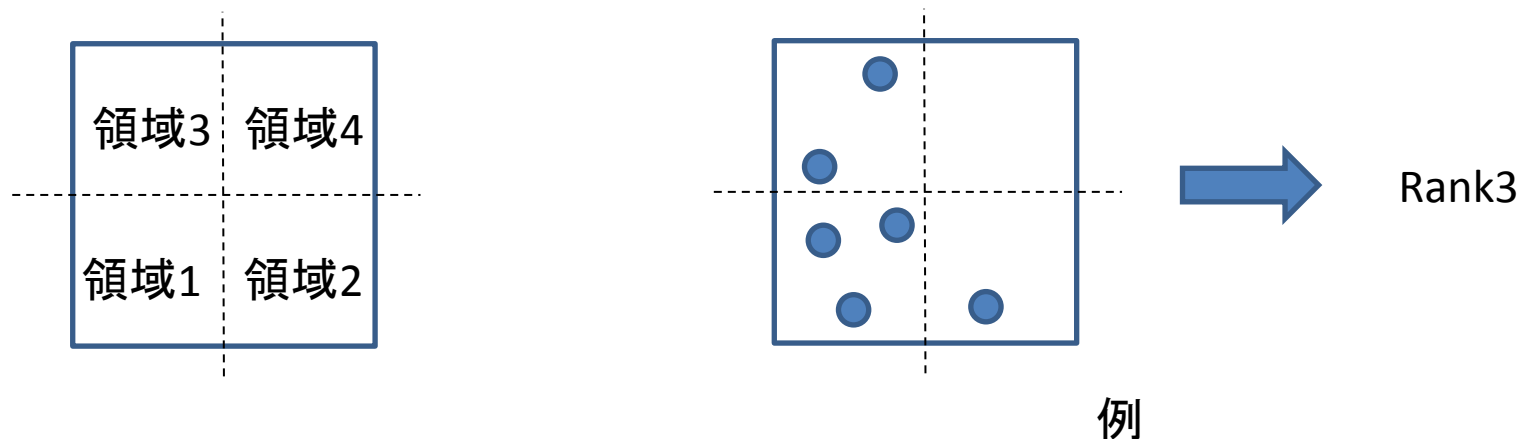
ー 使用空中写真

- 国土地理院提供空中写真:2016/4/16撮影分
2016/4/20撮影分



液状化マップ(20160624版)

- 作成方法は、現地調査における噴砂地点、液状化によると思われる建物周りの沈下や地盤の沈下地点、空中写真判読地点のそれぞれのポイントデータを結合し、50m×50mメッシュ上にプロット
- 50m×50mメッシュを4分割し、ポイントデータが、
 - 1領域のみに存在する場合をRank1
 - 2領域に存在するする場合をRank2
 - 3領域に存在するする場合をRank3
 - 4領域すべてに存在する場合をRank4として、液状化メッシュを分類した。

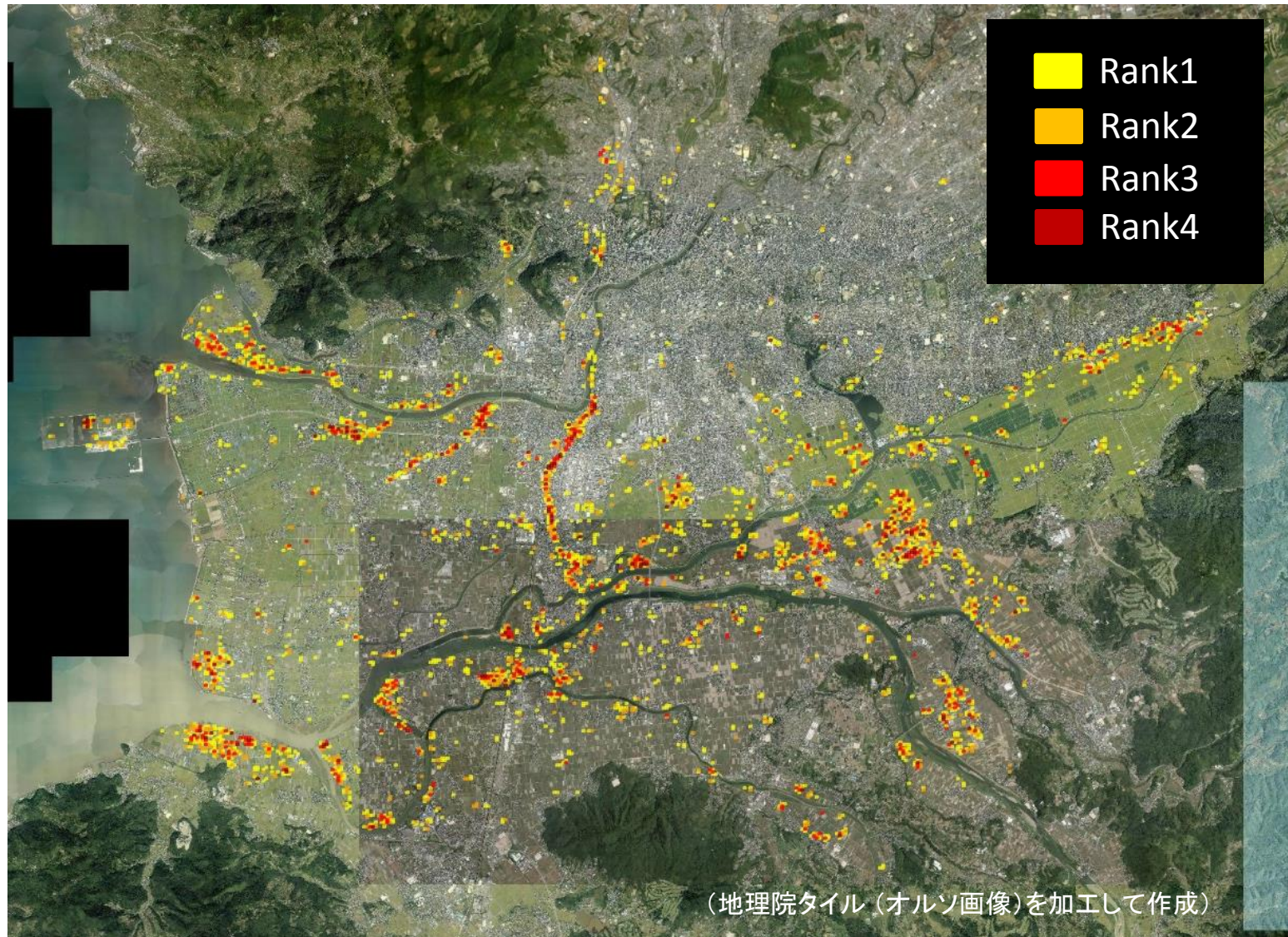


液状化マップ(20160624版)

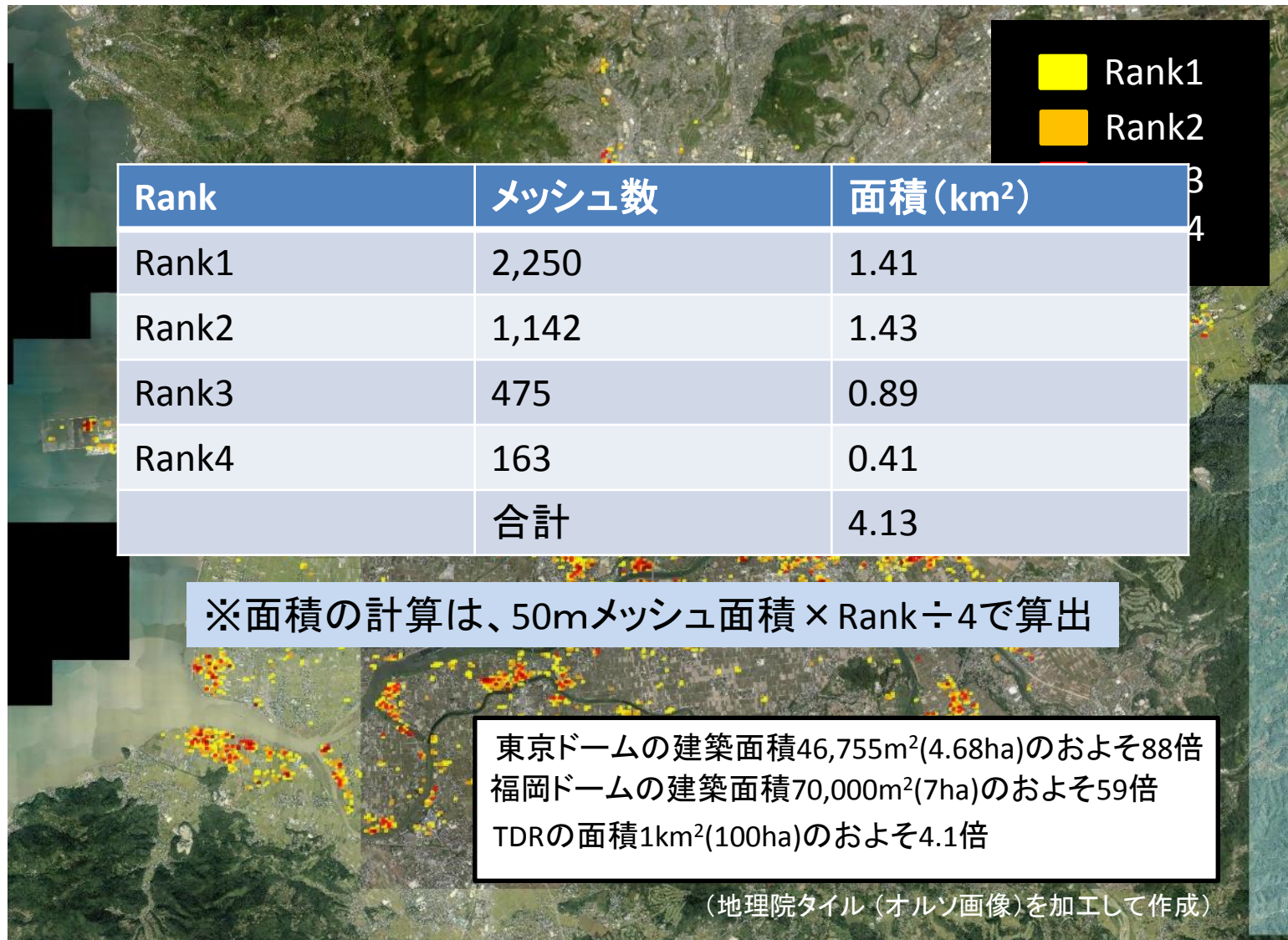
例



液状化マップ(20160624版)



液状化マップ(20160624版)



液状化マップ(20160624版)

• 利用上の注意

- 空中写真による判読結果には液状化による沈下は含まれていません。沈下が一様に生じている場合には現地調査でも確認が困難です。したがって、このような液状化現象については、この結果には含まれていません。
- Rankはメッシュ内の液状化の占める割合を示したものです。Rankが高いと液状化が占める面積が大きくなりますが、Rankの数値は液状化の激しさや被害の大小とは必ずしも一致しません。
- マップはWeb上での閲覧のみ可能といたします。
 - マップおよびデータを無断で複製、加工、利用することを禁止いたします。
 - マップおよびデータを用いて、無断で2次成果物を作成することを禁止します。
 - 被災自治体等、地域の復旧・復興に供するためのデータ提供は喜んで行います。下記までご連絡ください。
 - 福岡大学工学部社会デザイン工学科 村上哲(sato4murakami@fukuoka-u.ac.jp)
- マップは、下記URLで公開しています。
 - <http://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/tc/labo/drr/gis/H28KumamotoEQ/KumamotoLiqueJGSAIR2-MESH.html>
- この結果は今後の調査により修正される場合があります。下記も参照ください。
 - <http://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/tc/labo/drr/gis/H28KumamotoEQ/>

• 謝辞

- 判読に用いた空中写真は国土地理院撮影分を熊本市よりご提供いただきました。
- 空中写真判読に際し、福岡大学工学部社会デザイン工学科レジリエント防災研究室の学生諸君にお手伝いいただいた。ご協力感謝いたします。